

フィンランドの中学校長が東川に初来訪



フィンランドのカンガスアラ中学校、ビッレ・プオリサルミ校長が東川町を初めて来訪し、町内の小、中学校などを視察しました。

昨秋、町の視察団が同国の教育事情を視察するため同校を初訪問。今度は日本の教育事情視察に訪れてくれました。

4月14日から3泊4日滞在し、東川中、幼児センター、第三小、東川小を訪問。東川小では児童と一緒に給食を食べて「おいしい」と舌鼓。「フィンランドでも生徒と先生は同じ給食を食べます。マカロニ、パスタ、サラダが

多く、魚は日本と同じようにサケが多い」などと話しました。

中学校ではフィンランド国歌の演奏で出迎えを受け、「東日本大震災を機に出来たという美しい歌の合唱、吹奏楽の演奏の素晴らしいに驚きました」などと感心した様子。

授業も見学し、携帯電話の持ち込み禁止と聞いて「フィンランドでは生徒たちが携帯のゲームでよく遊んでいる。日本のように授業で禁止するのではなく、辞書などとして積極的にモバイルテクノロジーを利用している。上手に賢く使えば便利な道具だが、インターネットについては国内で論議されている」と双方を比較しました。

絵本「ラトビアのおはなし」出版記念会開催



4月12日、町が自主製作出版した絵本「ラトヴィアのおはなし」(A4版42頁、千500円+税)が完成し、農村環境改善センターで出版記念の読み聞かせ朗読会、絵本原画展などを開きました。

昨年町が自主出版した「ラトヴィア民話集」(翻訳・和爾桃子さん(東京在住))を絵本にしました。コーディネーターは町国際文化交流員、ウナ・ヴォルコヴァさん。

「べつぱらのしくみ」「あくまとようぼう」などの5話を収録。姉妹

都市ルーイエナ町のルーイエナ美術学校生、サビーネ・メルバーデさん(18)、パトリーツィア・ヨルキナさん(14)、ソフィア・カルニヤさん(13)、ザネ・イウシニヤさん(19)の4人が挿し絵を描き、原画展も開きました。

ラトビアの絵本挿し絵コンクールでグランプリ

かまくら春秋社(鎌倉市、伊藤玄二郎代表)が発刊したラトビアの絵本「もりはいいところ」おじいちゃんのパンこね台(変形A4版24頁、3月31日発行)の挿し絵として、ラトビア美術学校(リガ市)の学生、ディアーナ・カイヤカさん(22)の作品がグランプリを獲得。カイヤカさんを東

川町に招いて、3月29日、役場で表彰と賞金30万円の授賞式を行いました。

三木卓さん(横須賀市)がラトビア民話をもとにして書いた作品に採用するため、ラトビア国内で挿し絵を募集応募200点の中から、水彩画で描いたラトビアの風景の中に物語の動物たちを登場させたかわいらしい作風を選



定しました。賞金は原画の買い取り権を賞金にしたものです。

子育てに大切、「早寝、早起き、朝ごはん」



4月12日、町教委は幼児センターで和洋女子大学、鈴木みゆき教授の子育て講演会を開きました。

「これからの子どもたちに今必要なこと」と題して「早寝、早起き、朝ごはん」の重要性を話しました。

「日本の子どもは0歳から3歳でびつくりするくらい寝ていない。世界一遅寝で睡眠不足。子供は夜10時以降に寝てはいけない」と遅寝の害を話しました。

「ぐっすり眠るノンレム睡眠で記憶が定着し、成長ホルモンが出る。けがを治し、切れた血管を修復することもできる」「しっかりと寝るとメラトミン

豊作願って種もみのは種祭



4月14日、(株)東川農業振興公社で米作りのスタートとなる「北海道米播種(はしゆ)祭」を行い、田植えに向けて米作り準備が始まりました。

町内の農業関係者、大口出荷先の一つ、生活協同組合コープさっぽろの関係者らが出席しました。

松岡市郎町長は「日本古来から食文化として根付いた『イネ』は『命の根』。今年も大雪山の湧水で豊かに実ることを祈りたい」と願いを込めました。板谷重徳東川町農協組合長は「豊

穰の秋が来ることを願っています」と豊作の再来に期待をしました。種もみは成苗ポットのシートに種まきし、松岡市郎町長、板谷組合長、JA北海道中央会旭川支所の太田智主幹、コープさっぽろの川辺ひろみ旭川地区担当理事4人がビニールハウスに移植しました。同公社で今年引き受けた育苗は、「ななつぼし」「ほしのゆめ」2品種。町内6軒分(約8ヘクタール)のシート約4千枚。田植えは5月15日ごろから本格化します。

無事故誓って春の交通安全祈願祭



4月4日、町交通安全協会(藤田裕三会長)は東川神社で春の交通安全祈願祭を行い、1年間の交通事故ゼロを祈願しました。

町内の主な事業所、ライオンズクラブ会員、交通安全指導員ら約90人が出席。

交通繁忙期に入る季節に向けて町内の無事故を祈願しました。

松岡市郎町長は「地域で、会社で、学校で、交通ルールをしっかり守る実践をしっかりと進めよう」と呼びかけま

した。旭川東警察署、岡誠二地域交通官は「東川町内に一年を通して大きな事故がないことを願い、積極的な活動を願います」と期待を込めました。

藤田会長は「町内の事故は物損だけで1年間に150件。これを少なくしたい」と力説しました。